



# 相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」  
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

## 継続～あたり前のことをあたり前に～

平成28年度（第52期）生徒会の生徒総会が、5月16日に行われました。本校の良さの一つとして、自分たちの生活を自分たちで考えられる生徒会があります。体育館改築工事中で、全校生徒が集まっての総会ができない状況の中、役員会による入念な準備が進められての総会となりました。体育館が使えないことによって生徒会の停滞をまねくことがないよう、昇降口前の中庭を使っのパーティオ集会やテレビ放送の活用など、様々な知恵と工夫を凝らして活動を展開しています。今回の総会では、テレビ放送を使って視覚的な効果を取り入れながら各委員会の活動計画をわかりやすく伝えるとともに、質問や答弁が生中継されるという、国会中継さながらのものとなりました。

総会を経て、役員会提案による今年度のスローガン「継続～あたり前のことをあたり前に～」が承認されました。

良い姿を継続することで、その行動が自然と身につく、あたり前にできるようにするという願いから生まれたスローガンです。生徒会の活動によって、あたり前のことがあたり前にできる西中生を目指していきます。

### 各委員会の継続すること（＝あたり前のこと）

- <校風> 明るいあいさつ、正しい服装、時間を意識した行動の継続
- <学芸> 大きな歌声の継続
- <整美> 無言清掃、静かな黙想の継続
- <視聴覚> 西中の頑張っている姿の発掘、発信の継続
- <図書> 多くの貸し出し冊数の継続
- <編集> 西中のよさを発信することの継続
- <保健> ハンカチ&ティッシュを毎日持ってきて全校が健康な状態の継続
- <造園> いつでも花のある西中の継続
- <人権福祉> ベルマーク収集、あいさつの継続
- <給食> 新しい給食ルールを定着させ衛生的な給食の継続
- <体育応援> 日々の応援練習の継続
- <代議> 各委員会への協力の継続
- <総務> いつでも笑顔で過ごしやすい西中の継続



## 熊本地震義援金のための募金

4月14日以降、熊本県・大分県で相次いでいる地震による被災者のために、生徒会による義援金募金が行われました。中学生が持ち寄れる金額は決して大きなものではありませんが、先生方の協力もあって9万円近くの気持ちが集まりました。集まった義援金は、生徒会によって日本赤十字社へ送らせていただきました。



# 更埴大会を控えて

更埴大会が、来週末に迫り各部の活動もますます熱を帯びてきています。6日(月)より、部活動強化週間として5時間授業の日課とし、放課後の部活動の時間を確保していきます。昨年の10月より、勤労者体育センターや小学校の体育館等をお借りしての活動を余儀なくされている室内競技の部活動もある中で迎える更埴大会ですが、最後の大会となる3年生には悔いのない大会参加となるよう願っています。体育・応援委員会による応援練習も始まり、選手への士気の高揚と激励の応援によって、全校一丸となって大会に臨みたいと思います。

当日の種目別の会場は以下のとおりです。ぜひ、会場へ応援にお越しください。

## 【更埴大会の期日と会場】

種 目	会 場
男子バレーボール	11日(土):坂城中学校 体育館
女子バレーボール	11日(土):坂城中学校 体育館 12日(日):坂城中学校 体育館
男子バスケットボール 女子バスケットボール	11日(土):更埴体育館 12日(日):更埴体育館
サッカー ※小雨決行	11日(土):千曲市サッカー場 12日(日):千曲市サッカー場
ソフトテニス(女子) ※小雨決行	11日(土):東部庭球場(個人戦) 12日(日):東部庭球場(団体戦)
剣道	11日(土):埴生中学校 体育館
柔道	12日(土):更埴体育館 柔道場
ハンドボール男女	11日(土):屋代中学校 体育館
水泳	11日(土):おおとりプール

## 【北信大会より参加】

野球	18日(土):須坂市営球場
----	---------------

※ソフトボールは県大会より出場予定です。

## 更埴大会壮行会に是非おいでください。

**6月10日(金) 午後3時15分から**

【選手入場 15:15 終了 16:15(予定)】

本校は、地域開放参観日以外の日もいつでも保護者の皆さんに自由に参観いただくことができます。お時間がありましたら、来週金曜日に本校昇降口前パティオ(雨天時:3年メディアコーナー)で実施予定の更埴大会・北信野球壮行会においでいただき、3年生選手の勇姿を是非ご覧ください。お待ちしております。

\*\*\*\*\*



## 不審者対応防犯教室

5月19日(木)に、不審者が校地内に侵入した場合や不審者と遭遇した場合の安全確保やその後の対応を身に着けることを目的として、防犯教室を開講しました。講師をお願いした長野県警スクールサポーターの工藤さんからのアドバイスは、「まず気づくこと。そのためには、声をかけて反応がおかしければ不審者と考える。」ことでした。どのように声をかけたらよいのかは難しいことですが、その答えは「あいさつ」です。校内でも、地域でも「あいさつ」による声かけがとても大切であると教えていただきました。

夜間に出歩いている子どもを、安全のために補導するのだそうですが、そういう子は「私は大丈夫」と考えているそうです。こういう子は、事件が起きても「私のことではない」と考えているので、いざという時に対処できないそうです。不審者による事件は実際にあることですが、だからといって「怯えて暮らす必要はない」のであって、大事なことは「何かあった時にきちんと対処できる」ことだそうです。また昨今は、男子生徒を狙った性犯罪も増えているとのことで、ご家庭でも、生徒による夜間の出歩きには、男女を問わず十分に気を配っていただくようお願いします。

- ★ 5月25日(水)の千曲市内小中学校への爆弾予告に対しての安全確保対応では、生徒は落ち着いた行動をとることができました。早退措置等に対してのご家庭のご協力ありがとうございました。(文責:教頭 畑)